

③フェマーラ(レトロゾール)

フェマーラは商品名で一般名はレトロゾールです。この薬はアロマトラーゼインヒビターですが、アロマトラーゼという酵素をインヒビット(阻害)します。アロマトラーゼはテストステロンをエストラジオールに変換する酵素です。つまりアロマトラーゼを阻害するとエストラジオールが生成できなくなります。その結果ネガティブフィードバックがかかりゴナドトロピンの分泌を促進します。

フェマーラは本来乳癌の治療に用いられています。乳癌はエストロゲンの影響を受けて大きくなる性質があります。フェマーラは副腎や脂肪組織を介してのエストロゲン産生を阻止します。その結果、腫瘍の勢いがなくなり、病状がおさまります。

フェマーラは排卵誘発剤としてクロミフェンに匹敵する排卵誘発効果が得られています。ただ日本では排卵誘発剤としては保険適応がされていないため自費での使用となりコストが高くなります。大体1錠800円~1000円程度します。それを5日間内服するため月5千円もかかります。

フェマーラはクロミフェンの副作用である子宮内膜が薄くなったり、頸管粘液が減少したりといった副作用は少ないです。その理由はフェマーラの半減期は45時間であるのに対して、クロミフェンは5日~3週間ほどあります。半減期が短いため抗エストロゲン作用の副作用がでにくいと言われています。

排卵誘発効果はクロミフェンと同等であり、かつ流産率が少ないと報告されています。特にPCOS症例には効果的であると報告されています。

この薬を使う上で注意点として、卵胞の発育が良いにもかかわらず血中エストラジオール値が低いという点が挙げられます。なぜならフェマーラはエストラジオールを作らせないホルモン剤だからです。そのため血中エストロゲン値と卵胞の大きさが比例しません。エストロゲン値よりも卵胞の大きさを採卵や排卵のタイミングを見ていきます。